

学校だより



津市立櫛形小学校
令和元年.6.7.発行
第4号 文責：校長

令和元年度 運動会 ～みなさまからの温かい応援 ありがとうございました～



5月25日(土)、たいへん暑い中でしたが、令和元年度の運動会を開催することができました。保護者の皆様には、連休明けの練習時より、毎日多い目のお茶を子どもたちに持たせていただき、ありがとうございました。当日も、急なお願いにもかかわらず、首に巻くタオルや補充分のお茶を準備していただきました。おかげさまで、熱中症になることなく運動会を実施することができました。また、たくさんの地域の方々にもお越しいただき、ふれあい競技へ一緒に参加していただく等、皆様方の応援、ご協力に対し、心よりお礼申し上げます。

開会式での力強い応援コール、そして、応援団長の「櫛形小は歌の学校だから歌で決着をつけよう」の言葉の後、赤組白組の2部合唱による応援歌を子どもたちは運動場に響かせてくれました。素晴らしかった表現活動、白熱した団体戦、ゴール目指して全力で走り抜けた徒競走、そして子どもたちが全員で取り組んだりレー。どの競技も演技も「令和元年！みせよう 心を一つに 69のパワー」のスローガン通り、子どもたちは力を合わせて、全力で取り組み、会場のみんを魅了してくれました。また、準備や片付け、係活動にと、運動会の成功に向けて裏で支えて活動してくれた高学年の姿もとても頼もしかったです。暑い中、最後まで声援を送っていただき、本当にありがとうございました。



ホームページ <http://ednet.res-edu.ed.jp/s-kushigata/> に運動会、遠足等の写真を掲載しています。ご覧ください。

春の遠足

5月31日(金)、延期していた春の遠足を実施しました。1、2年生は津偕楽公園へ、3～6年生は片田団地東公園へ行きました。3～6年生は当初は長谷山へ登る予定でしたが、職員で下見に行ったときに、虫がたくさん発生していて虫に刺されてしまいました。それで、急ではありましたが、行き先を片田団地東公園に



変更させていただきました。どちらの場所も遠足は楡形小の子どもたちだけで、楡形小の運動場にはない遊具で思い切り遊ぶことができました。延期のため、2度にわたる早朝からのお弁当作り等のご準備、ありがとうございました。



PTA 奉仕作業 大変お世話になりました ありがとうございました！

6月1日(土)には、PTA 奉仕作業が行われました。今回は自治会を通じて地域の皆様にもご協力をお願いしたところ、どの地区からもたくさんの方々が、早朝の6時から草刈り機やチェーンソー等の道具を持って駆けつけてくださいました。運動場やプール周辺、体育館の裏、学校へ上る道の両脇等まで大変きれいに草を刈っていただきました。そして、普段なかなかできない長く伸びた校舎周辺の竹も倒して、短く裁断していただくことができました。また、8時から子どもたちも一緒になって運動場やプールサイドの草取りをお世話になりました。プールの裏山からの落ち葉やブロックの隙間の根の強い草、たまった土等をていねいに掃除していただきました。どの場所も見違えるように大変きれいになりました。子どもたちが気持ちよく安全に活動できるようにと、土曜日にもかかわらず、多くの方々にご協力いただき本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



楡形地区フロアカーリング大会開催



6月2日(日)、楡形地区体育振興会主催のフロアカーリング大会が、前葉泰幸津市長さんの始球(投)式から本校体育館で開催されました。お世話になっている地域の皆様、保護者さんに混じって卒業生や子どもたちの姿も見られ200名を超える参加がありました。地区対抗戦ではありましたが、職員もチームの中に入れていただき、投げても思い通りのところで止まってくれないジェットローラーの扱いに苦戦しました。周りの方に「大丈夫やに」「惜しい。もうちょっと」「楽しんで」等と声をかけていただき、和やかな楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



子ども見守り隊総会・講演会と対面式開催

6月5日(水)には、楡形小学校子ども見守り隊の総会及び講演会、子どもたちとの対面式を行いました。今年度は、保護者の方々、PTA 役員さん、地区委員さんはじめ、地区の民生児童委員さん、地域の有志の方々28名の登録をいただきました。総会の後、楡形駐在所の坂井さんに「児童の安全を守るために」と題して講演をしていただき、児童の一斉下校に合わせて、対面式を行いました。先ごろ川崎市や大津市で、あってはならない本当に心が痛む事件や事故が起きました。見守り隊の皆様や地域の皆様には、子どもたちの登下校に合わせて、ゴミ出しや散歩等日常活動の機会にできる「ながら見守り」をしていただけるとありがたいです。「行ってきます」「ただいま」という子どもたちの声が聞ける当たり前の日常が、この先ずっと続きますように、子どもたちの安全を守る取組にご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

